

広島商船高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	機関演習		
<b>科目基礎情報</b>							
科目番号	0009	科目区分	専門 / 必修				
授業形態	演習	単位の種別と単位数	履修単位: 1				
開設学科	商船学科 (機関コース)	対象学年	3				
開設期	前期	週時間数	2				
教科書/教材	船の電機システム～マリンエンジニアのための電気入門～ (商船高専キャリア教育研究会 編, 海文堂) 船の電機システムワークブック (商船高専キャリア教育研究会 編, 海文堂)						
担当教員	村岡 秀和						
<b>到達目標</b>							
(1) 機関室に設置されている機器の種類を理解でき、それを説明できる。 (2) 計測制御の種類を理解でき、それを説明できる。 (3) シーケンス制御についてを理解して説明でき、シーケンス図を読み解くことができる。 (4) 電気制御に必要な電源についてを理解でき、同期発電機について説明できる。							
<b>ルーブリック</b>							
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安				
評価項目1	機関室に設置されている機器の原理を理解できる。	機関室に設置されている機器の種類を把握できる。	機関室に設置されている機器について十分に理解しておらず、電動機についての説明や、基本計算ができない。				
評価項目2	フィードバック制御系の構成要素と基本的な働きが説明できる。	様々な計測制御方式を理解でき、それを説明できる。	各種計測制御方式を十分に理解していない。				
評価項目3	変圧器に関する理論と、実際に変圧器を運用するにあたっての問題を理解できる。	基本的な電気制御概念を理解しており、変圧器についての説明や、基本計算ができる。	基本的な電気制御概念を十分に理解しておらず、変圧器についての説明や、基本計算ができない。				
評価項目4	発電機に関する理論と、実際に発電機を運用するにあたっての問題を理解できる。	制御用電源に関する基本事項を理解しており、発電機についての説明や、基本計算ができる。	制御用電源に関する基本事項を十分に理解しておらず、発電機についての説明や、基本計算ができない。				
<b>学科の到達目標項目との関係</b>							
<b>教育方法等</b>							
概要	この授業では機関室にある機器に関する知識・技術を習得し、それを実際に活用することを目的としている。そのなかでも制御技術は航空機や船舶などの乗り物、製造業の機械装置など、社会や産業から家庭用の電気製品にいたるまで、あらゆる分野に実用されている。またその制御技術には必ず測る、つまり計測技術が伴う。したがって制御では計測が伴わなければ制御は不可能である。そのため、自動制御の基礎概念、制御装置の仕組み(センサ、調節計、操作端)と原理や、制御に必要な計測に関する機器や数値処理について学び、計測制御に必要な力を身につける。						
授業の進め方・方法	板書、口頭説明、配布プリント、質疑応答などにより授業を進め、小テストなどで確認を行う。						
注意点	教科書、ノート等、指示されたものを持参すること。 事前に教科書の授業範囲を読んでおくこと。 不明な点については速やかに質問にいくこと。 国家試験に合格した場合、加点をおこなう。						
<b>授業計画</b>							
	週	授業内容	週ごとの到達目標				
前期	1stQ	1週	1.機関室の機器	1-(1) 機関室の機器の種類を理解できる			
		2週	1.機関室の機器	1-(1) 機関室の機器の種類を理解できる			
		3週	2.計測制御	2-(1) 計測という概念を理解できる。			
		4週	2.計測制御	2-(2) 様々な制御方式を理解できる。			
		5週	2.計測制御	2-(3) フィードバック制御の制御系を理解できる。			
		6週	2.計測制御	2-(3) フィードバック制御の制御系を理解できる。			
		7週	中間テスト	ここまでの内容を確認できる。			
		8週	答案返却・解説	間違いの内容を確認できる。			
	2ndQ	9週	3.シーケンス制御	3-(1) シーケンス制御の基本事項についてを理解できる。			
		10週	3.シーケンス制御	3-(2) シーケンス制御の各種部品とその記号を判別できる。			
		11週	3.シーケンス制御	3-(3) 様々なシーケンス図を読み解くことができる。			
		12週	3.シーケンス制御	3-(4) 応用的なシーケンス図を読み解くことができる。			
		13週	4.制御用電源	4-(1) 発電機の基本事項についてを理解できる。			
		14週	4.制御用電源	4-(1) 発電機の基本事項についてを理解できる。			
		15週	期末テスト	ここまでの内容を確認できる。			
		16週	答案返却・解説	間違いの内容を確認できる。			
<b>評価割合</b>							
	試験	課題・ノート提出	小テスト	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	65	10	5	5	0	15	100
基礎的能力	40	7	3	5	0	15	70
専門的能力	25	3	2	0	0	0	30
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0